

# 屋外型国際写真祭『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023』

イベント『山崎博上映会＆トーク』開催のお知らせ 1 / 6

<PRESS RELEASE>

報道関係者各位

2023年9月15日(金)

一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY

山崎博の幻の大作を大スクリーンで鑑賞できるチャンス。  
『特別上映会：山崎博作品集 + 《山崎博の海》上映 & トーク』  
チケット販売開始のお知らせ。9月19日(火)正午から

一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY（東京都中央区）は、2023年10月7日（土）～29日（日）の期間中、東京駅東側エリア（「東京スクエアガーデン」、「東京ミッドタウン八重洲」、「国立映画アーカイブ」他）で展開される、屋外型国際写真祭『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023』にて開催されるイベント『特別上映会：山崎博作品集 + 《山崎博の海》上映 & トーク』のチケットの販売が、9月19日(火)正午から開始されます事をお知らせします。なお、チケットは無くなり次第終了です。

**T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023**  
特別上映会：山崎博作品集 + 《山崎博の海》上映 & トーク



萩原 朔美  
HAGIWARA Sakumi  
映像作家

石田 哲朗  
ISHIDA Tetsuro  
キュレーター

10/21(土) 会場：国立映画アーカイブ(B1階 小ホール)

有料 事前申込制

イベント『特別上映会：山崎博作品集 + 《山崎博の海》上映 & トーク』告知用バナー

## ◆イベント『特別上映会：山崎博作品集 + 《山崎博の海》上映 & トーク』

### | 開催概要

企画名：『特別上映会：山崎博作品集 + 《山崎博の海》上映 & トーク』

内容：山崎博写真展『10 POINTS HELIOGRAPHY 82/23』と萩原朔美展『70's Experiments』

の開催に合わせ、特別上映会を実施します。

上映作品：山崎博映像作品：《HELIOGRAPHY》(1979)、《観測概念》(1975)、  
《VISION TAKE 1》(1973)、< MOTION > (1980)

萩原朔美氏映像作品：私映画《山崎博の海》デジタル(2018)

トーク登壇者：萩原 朔美、石田 哲朗

# 屋外型国際写真祭『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023』

イベント『山崎博上映会＆トーク』開催のお知らせ 2 / 6

日時：10月21日（土）14:15～16:05（予定）

会場：国立映画アーカイブ B1階 小ホール（定員151名、全席指定席）

チケット料金：一般：1,500円／高校生・大学生・65歳以上：1,000円／小中学生：500円／障害者手帳をお持ちの方（付添者は原則1名まで）・国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズ・優待：500円

チケット購入：

1. 国立アーカイブ HP：<https://www.nfaj.go.jp/exhibition/yamazaki/>

2. 国立アーカイブ窓口：開映1時間前から5分前まで若干数販売（座席選択不可）

販売開始日：9月19日（火）正午から開映15分前まで。無くなり次第終了。

共催：国立映画アーカイブ、一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY

協力：東京都写真美術館

\*本イベントは有料です。上映開始後、途中入場やトークのみのご参加はできません。

\*チケットの購入方法等の詳細は、「国立映画アーカイブ」の公式HPをご参照ください。

<https://www.nfaj.go.jp/exhibition/yamazaki/>

## | 登壇者の紹介

### — 写真家 —

萩原 朔美（はぎわら さくみ）



1946年東京生まれ。祖父は詩人萩原朔太郎。母は小説家萩原葉子。寺山修司主宰「演劇実験室・天井桟敷」で役者・演出家として活躍。現在、前橋文学館館長、多摩美術大学名誉教授、金沢美術工芸大学客員教授、前橋市文化活動戦略顧問。映像作家。著者に、『時間を生け捕る』『思い出の中の寺山修司』『定点観測』『劇的人生こそ真実』『砂場の街のガリバー』『死んだら何を書いてもいいわ』その他多数。

### — キュレーター —

石田 哲朗（いしだ てつろう）



1968年大阪生まれ。1995-2002年東京都現代美術館勤務。2003年から現職。教育普及プログラムと展覧会企画を手掛ける。主な展覧会は「川内倫子 照度 あめつち 影を見る」（2012年）、「山崎博 計画と偶然」（2017年）、「あしたのひかり」（2020年）、「野口里佳 不思議な力」（2022年）ほか。

## ◆山崎博写真展『10 POINTS HELIOGRAPHY 82/23』

企画名：山崎博写真展『10 POINTS HELIOGRAPHY 82/23』

内容：写真家・映像作家の山崎博が1982年に撮影・発表した写真作品。2日間にわたり都内10カ所で同時に太陽を長時間露光した作品で、当時の個展および『アサヒカメラ』誌上で発表後、37年もの間忘れ去られていた幻の大作である。“光学的事件”を追求した作家の

## 屋外型国際写真祭『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023』

イベント『山崎博上映会＆トーク』開催のお知らせ 3 / 6

到達点であり、その鮮烈な視覚体験は発表後 40 年を超えた今日でも色あせることがない。

会期：10月3日（火）～10月29日（日）11:00～18:30（月曜日休館）

\*10月27日（金）は20:00まで

会場：国立映画アーカイブ 1階ロビー（東京都中央区京橋 3-7-6）

アクセス：東京メトロ銀座線京橋駅出口 1 から昭和通り方向へ徒歩 1 分、都営地下鉄浅草線宝町駅出口 A4 から中央通り方向へ徒歩 1 分、東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅出口 7 より徒歩 5 分、JR 東京駅下車、八重洲南口より徒歩 10 分

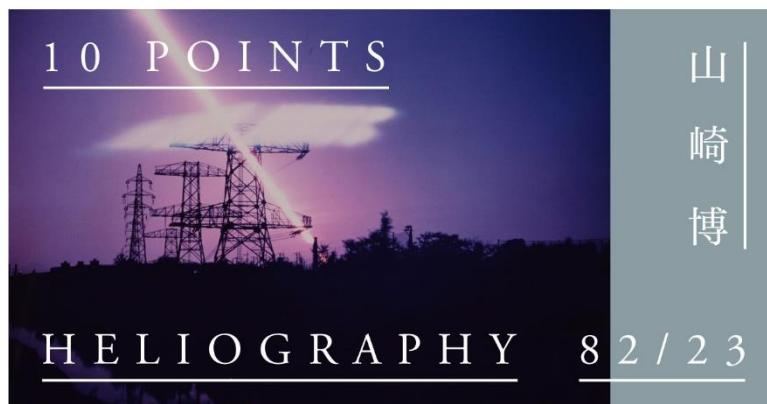
<https://www.nfaj.go.jp/visit/access/>

入場料：無料

出展作家：山崎 博

キュレーター：石田 哲朗（東京都写真美術館 学芸員）

共催：国立映画アーカイブ、一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY



### ◆萩原朔美展『70's Experiments』

企画名：萩原朔美展『70's Experiments』

内容：国立映画アーカイブのロビーで開催される山崎博写真展『10 POINTS HELIOGRAPHY 82/23』と連携し、山崎の高校時代からの親しい友人でもある映像作家・萩原朔美の 70 年代の実験的な映像作品を展示する。展示作品は《TIME》、《KIRI》、《BUTTERFLY》、《日曜日に僕が見たもの》、《DRAMA》。なお、10月 21 日（土）には、国立映画アーカイブにて『特別上映会 山崎博作品集+《山崎博の海》上映 & トーク』を開催する。

会期：10月17日（火）～10月28日（土）（月～土：11:30～19:00）※最終日は17:00まで

会場：art space kimura ASK?（アートスペースキムラ アスク）

（東京都中央区京橋 3-6-5 木邑ビル 2F）

アクセス：東京メトロ銀座線「京橋駅」2番出口より徒歩 1 分

都営浅草線「宝町駅」4番出口より徒歩 2 分

# 屋外型国際写真祭『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023』

イベント『山崎博上映会＆トーク』開催のお知らせ 4 / 6

<https://asku.sakura.ne.jp/ask/access/>

入場料：無料

出展作家：萩原 朔美

協力：art space kimura ASK?



## ◆『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023』開催概要

名称：屋外型国際写真祭『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023』

会期：2023年10月7日（土）～29日（日）

会場：東京駅東側エリア（八重洲・日本橋・京橋）

東京スクエアガーデン、東京ミッドタウン八重洲、JR 東京駅（八重洲中央口改札外 グランスタ八重洲）、国立映画アーカイブ、TODA BUILDING 工事仮囲、東京建物八重洲ビル、東京建物日本橋ビル、東京建物八重洲仲通りビル、大丸東京店、BAG-Brillia Art Gallery- + 2、art space kimura ASK?、72Gallery 他

入場：無料

主催：一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY

主管：株式会社シー・エム・エス

企画：T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 実行委員会

特別協賛：TOKYO SQUARE GARDEN、東京ミッドタウン八重洲、東京建物株式会社、戸田建設株式会社

協賛：一般社団法人東京ステーションシティ運営協議会、中央日本土地建物株式会社、大丸東京店

協力：国立映画アーカイブ、東京地下鉄株式会社、株式会社 POD、株式会社フラットラボ、公益財団法人 彫刻の森芸術文化財団、株式会社クオラス、株式会社写真弘社、有限会社フォトグラファーズ・ラボラトリ、株式会社ゆめみ

後援：京橋一の部連合町会、京橋三丁目町会

助成：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京【芸術文化魅力創出助成】

在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ

※協賛企業社名は現時点の情報です。更新される可能性がございます。

※各会場の休館日や開館・閉館時間などは、各施設の公式サイトをご確認ください。

※展示の詳細などは、イベント公式サイト（<https://t3photo.tokyo/>）をご確認ください

## 屋外型国際写真祭『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023』

イベント『山崎博上映会＆トーク』開催のお知らせ 5 / 6

### ◆屋外型国際写真祭『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO』とは？

2017 年の開始から今回で 5 回目を迎える『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO』は、世界的にも珍しい大都市の中心で開催される「屋外型国際写真祭」です。メインの舞台となるのは東京の【八重洲・日本橋・京橋】。中でも八重洲・京橋は、東京駅や銀座、日本橋に挟まれた絶好の立地にも関わらず、多くの人にとってオフィス街のイメージがあります。しかし、その歴史を紐解くと、江戸時代には城下町として文化が栄え、明治、大正、昭和と多くの文化人が足しげく通ったエリア。現在も江戸時代から続く老舗や、150 以上の古美術商や画廊が存在するなど、都内有数のアートの集積地として高いポテンシャルを秘めています。世界水準のアーティストたちによる作品展示やパブリックプログラム、さらには、日本国内 14 の美大・専門学校と協力し開催する「STUDENT PROJECT」を通じて、同エリアが「次世代の写真文化を育むアジアのハブ」となることを目指し開催しています。



### ◆一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY(T.I.P.)について

#### | 写真の未来を語り、交流する場所の創造

一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY (T.I.P.) は、（1）教育事業、（2）アーティストインレジデンス (AIR) 事業、（3）地域文化事業という 3 つの事業を柱に活動を行う一般社団法人です。写真展示ギャラリーや、会員向けライブラリー、撮影スタジオなどの設備を持ち、写真文化と地域への貢献をミッションに活動をしています。

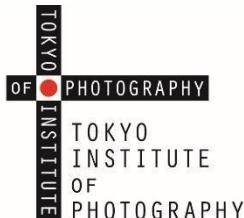
会社名：一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY

創業：2010 年 08 月

所在地：東京都中央区京橋 3-6-6 エクスアートビル 1F

電話番号：03-5524-6994

HP：<https://tip.or.jp/abouttip>



屋外型国際写真祭『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023』  
イベント『山崎博上映会＆トーク』開催のお知らせ 6 / 6

---

【本件に関するお問い合わせ（掲載・露出不可）】

本フェスティバルのディレクターであり創設者である速水惟広や、展示キュレーター（後日発表）への「インタビュー」、開催会場での「撮影取材」についても調整可能です。是非、お気軽にお問い合わせください。

画像素材⇒ [https://drive.google.com/drive/folders/1CnXS0ki2-vjYrstm8Nvjfl\\_KNrbphmKx?usp=sharing](https://drive.google.com/drive/folders/1CnXS0ki2-vjYrstm8Nvjfl_KNrbphmKx?usp=sharing)

[1] 広報全般のお問い合わせ

株式会社ロールアップ 広報担当：岩田（いわた）

MAIL：[iwata@rollup.day](mailto:iwata@rollup.day) / MOBILE：070-9027-2815 /

[2] 展示企画、キュレーター等への取材はこちら

株式会社シーエムエス 東京（京橋）本社 担当：堤谷（つつみたに）

TEL：03-5524-6991 / FAX：03-5524-6992 /

MAIL：[hana.tsutsumitani@cmsinc.jp](mailto:hana.tsutsumitani@cmsinc.jp)

---